☆☆☆

山都町立矢部小学校　学校だより

自分らしく～Be Unique～

矢部小HP　　令和６年７月８日（月）　　第１５号

２次元コード゛←カラー閲覧できます

校　長　池部　聖吾智（みわとも）

☆☆☆

二人の児童が示した「学ぶ姿」

一人目は、間違いなく本校で一番校長室の滞在時間が長い子についてです。校長室が大好きなのでしょう。よく遊びに来ます。そこで簡単に入らせないように私は関所を作ります。今回四度目のお題を出しました。「矢部小はいくつの小学校が統合してできたか？また統合した小学校名をすべて答えよ」しかし、彼はこのお題を２０分ほどで解決し、関所を通過しました。これまでも彼はどんなお題であろうが一番に、短時間で解決、入室許可を得てきました。

二人目は、校長室入室はしませんが窓越しにいつも話しかけてくる子です。「先生、し手話ってわかりますか？」と言って実際に手話をして見せてくれました。YouTubeでみて面白そうだったから覚えているそうです。

解決しなければならない必要性が生じたり、興味を持ったことは他から言われなくとも主体的に学ぶ姿を二人が示しています。学習とは「自分で学ぶ」ことです。

これからの時代は、「面白がる力」が必要！　好奇心をもって取り組む＝最強

　複雑で曖昧で、正解がないこれからの時代。昨日までの正解が今日の不正解になることが多々ある。当然、失敗の連続になるはず。この時代を幸せに生きるには試行錯誤を楽しみ、立ちはだかる壁をゲームのように「おお！次はこれが来たか！」と面白がる力が必要。　「日本教育」　令和６年１月号　ｐ１１

　発明家エジソンは、寿命の長い電球を発明するまでに２万回近くの実験を繰り返したそうです。そのことを「私は実験において失敗など一度たりともしていない。これでは電球は光らないという発見を今までに、１万回してきたのだ。」と語ったと言われています。このエピソードからも、「失敗」はマイナスではなく、一歩前に進むためのプロセスであることがわかります。

　矢部小学校は、「挑戦」と「失敗」を応援します！ 失敗を恐れずに、いろんなことに挑戦してほしいと願っています。

矢部抄

先週は、結局一週間ずっと体調を崩していた。大好きなビールを飲む気にもならず、食欲もガタ落ち。夜中に熱を出して眠れなかった日も３日ほどあった▼約半年後には還暦を迎える身となり、体力的にも落ちてきているのかもしれない。時々病気になることは決して悪いことばかりではなく、健康のありがたみや人生を見つめなおすよい機会になっている▼昨日は七夕。「織姫と彦星が一年に一度だけ会える」伝説話だ。現在長崎県で看護師として活躍している生徒がいる。二十数年前に担任した子である▼昨年度は本人が育休中だったので、面会が実現した。今年は職場復帰したので難しいと思っていたが偶然にも息子さんの保育参観と修学旅行の日程が重なり、休みが取れたので、旅行中のスキマ時間を利用して面会がかなった。今年の七夕は久しぶりの好天。こちらも無事に会えたのだろう